



# ぎのわん 市議会だより

## 第59号

平成18年6月10日発行

### 宜野湾市議会

宜野湾市野高一丁目1番1号  
電話(098)893-4411(内340)

印刷/有限会社 金城印刷



拡張整備の進む宜野湾港マリーナ

## 一般会計予算235億円余を可決!

etc.「議員定数2人減」「介護保険料209円引き下げ」

### 三月 定例会

本 会 議	
三月二十七日 各常任委員会の審査報告 及び表決、条例八件、新年度予算九件、その他四件	三月二十七日 議会運営委員会
*三月十七日 議案の表決(一件) 一般質問(三ページ以下参照)	三月二十三日 ～二十四日 議会運営委員会
三月十七日～二十四日(五日間) 二十二名の議員による	三月十三日 ～十五日 総務常任委員会
三月十三日～十六日(四日間) 平成十八年度一般会計 予算審議	三月十日 中間表決 一般会計及び各特別会計 補正予算(八件)
三月十日 中間表決 一般会計及び各特別会計 補正予算(八件)	三月三日 追加提出議案二件
↑報告↓ ・経氏における議案審査	三月二日～三日(二日間) 提出議案に対する議員の 質疑、常任委員会への審 査付託及び付託省略議案 の表決(十三件)
三月六日～八日(三日間) 三常任委員会(総務・建設 ・経氏)における議案審査	二月二十七日 会期の決定、 施政方針及び提出議案 三十七件の提案説明 (八ページ参照)
三月六日～八日(三日間) 三常任委員会(総務・建設 ・経氏)における議案審査	二月二十三日 議会運営委員会
三月六日～八日(三日間) 三常任委員会(総務・建設 ・経氏)における議案審査	二月二十七日 議会運営委員会

### 定例会の経過

会期二月二十七日～三月二十七日

第三二四回宜野湾市議会定例会は、二月二十七日から三月二十七日までの二十九日間の会期で開かれました。

今定例会は、平成十八年度一般会計予算をはじめ、介護保険条例の一部改正や市議会議員定数条例の一部改正など、四十五件の議案等が審議されました。

# 三月定例会 主な議案の審議経過

## 平成十八年度一般会計予算 二二五億四千万円（前年度比九・七％増）

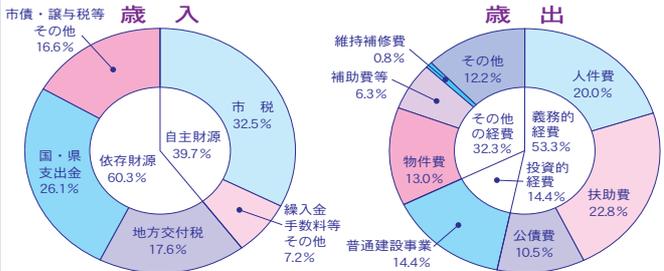
平成十八年度予算案は、前年度比二十億八千万円の増額となり、特に普通建設事業費が十五億円の大幅な伸びを示しており、その主な要因としては嘉数中学校校舎増改築事業、マリン支援センター整備事業等となっております。

審議においては、行財政改革や財源確保の問題をはじめ、西海岸開発、嘉数中学校全面改築事業、大山小学校過密問題及び大山田いも地域の開発、ごみ減量対策、失業・雇用問題等その他にも教育及び住民福祉等に関して多くの議論がなされ、全会一致をもって可決されました。

## 議員定数を二人減「二十八人」に改正

定例会最終日の二十七日、前定例会で否決となった議員定数削減案（三十人→二十八人）と同様の改正案が、平安座唯雄議員ほか二十四人から議員発議により追加提案されました。提案理由として、「他市の状況や全国的な傾向、本市の財政状況等を見ながら、宜野湾市だけが法定の上限定数というのは、

## 平成18年度 一般会計歳入歳出予算性質別の状況



市民の理解が得られない。」との提案説明が述べられました。審議においては、「特別委員会等を設置しても」と議論されるべき。議会の経費全体を調整し削減を考えてからでも遅くない。」等の反対討論もありましたが、採決の結果、賛成多数賛成二十五、反対二により可決されました。

## 介護保険条例の一部改正について

介護保険法の一部改正や介護保険事業計画の見直し等により、第一号被保険者の保険料基準額を月額五、一六二円から四、九五三円へ二〇九円を引き下げる内容であります。

審査においては、引き下げの理由として、介護保険制度の改正に伴う要介護から要支援への移行や、施設利用者の食費と居住費の自己負担化、地域包括支援センターによる介護予防事業の実施等についての説明がなされ、全会一致をもって可決されました。

## 普天間飛行場の危険性の除去・意見書

定例会最終日の二十七日、名城宏議員ほか九名の議員から政府関係機関に対し「市民の尊い生命や財産を守るためにも普天間飛行場の返還は一刻の猶予も許されない。在日米軍再編に関する最終報告において返還に要する期間についても市民の危険性の除去を図る観点から、すべての航空機の住宅地域上空の飛行停止を初めとする諸々の手段を講ぜられるよう強く要請する。」との趣旨の意見書案が提出され、全会一致をもって可決されました。

## トロピカルビーチを民間に管理運営委託

宜野湾海浜公園の一部（ビーチ）及び産業展示館の指定管理者の指定については、本市において初の民間事業者による公の施設の管理運営を行うものであり、その指定管理者としてアクト総合サービス株式会社を指定する提案内容です。

審査においては、同社の選定理由及び他社との比較検討のあり方、指定管理料千五百万円の算定根拠、運営面の剰余金の取り扱いなどについて多くの議論がなされ、全会一致で同意されました。



住宅地に隣接した普天間飛行場



夏を迎えたトロピカルビーチ

## 議会日誌

平成十八年(四月)  
27日 岡山県岡山市より視察 広島県呉市 // 視察

平成十八年(五月)  
8日 神奈川県座間市 // 視察  
9日 広島県東広島市 // 視察  
11日 青森県青森市 // 視察  
15日 北海道小樽市 // 視察  
16日 東京都福生市 // 視察  
17日 兵庫県芦屋市 // 視察  
22日 三重県鈴鹿市 // 視察  
26日 第三二五回臨時会  
29日 神奈川県川崎市 // 視察

## 仲村春信氏が受章

春の叙勲において、元市議会議長の仲村春信氏(赤道在)が長年にわたる市政発展への地方自治功勞により旭日双光章を受章されました。  
おめでとうございます。



仲村 春信氏

# 一般質問

今定例会は、次の22名の議員から市政全般について、多くの一般質問がありましたが、紙面の都合上簡潔に掲載いたします。なお、詳しい内容は、市議会会議録を自治会事務所や議会事務局に保管してありますので御参照下さい。なお、市のホームページにも掲載しますので御利用下さい。



全面改築予定の嘉数中学校校舎

## 嘉数小学校、嘉数中学校建てかえについて

◎平安座唯雄議員 嘉数小学校建てかえ計画において、進入道路の確保というものが必要になってくるが、並行して進めていけるのか。

◎教育部長 小学校の正門と裏門に通じる道路は狭隘であるため、改築に当たっては基本設計や実施設計等の中で検討してまいります。

◎平安座唯雄議員 道路というのは行政の仕事なので、できるだけ急いで対応方を願いたい。次に、嘉数中学校の改築が始まれば十八年、十九年

度の二年度程度グラウンドが使えなくなると思うのですが、その間、体育や部活などどのようにするのか。

◎教育部長 当該地域には運動場程度の広場がありませんので、校長先生を中心に部活等ができるような場所がないかどうかの調査検討に入っております。

◎平安座唯雄議員 中学三年間のうち、二年もそういった教育ができないということは大変なことです。どこか場所を確保していただきたい。

## 市長の政治姿勢と市政運営について

◎上地安之議員 市長の反米反基地、反政府の政治スタンスが、本市の事業執行に要する財源計画に影響はないか。

◎企画部長 国が市長の政治スタンスの理由をもって、補助金等の額を調整することはできないと理解しております。

◎上地安之議員 宜野湾十一号道路整備事業については、市長の政治スタンスの影響が出ていませんか。一体なぜ解決できないのか。

◎建設部長 該道路については、パトロール道路の移設が必要

であり、移設先の文化財調査が平成十七年から、その調査を終えないとできないということとです。ただ、防衛施設局予算だけでなく国交省予算もあり

ますので、地権者の合意を図りながら費用対効果等の問題も検討し、整備手法を検討していきたいと思えます。

◎上地安之議員 市長の業務において、政治が先行して行政が後退をするという市民サービスの低下につながりますので、一歩下がって検証してみること

## 普天間基地返還アクションプログラムと米軍再編について

◎前川朝平議員 前期基本計画を見てみると第二次アクションプログラム策定とありますが、どうなっていますか。

◎基地政策部長 平成十六年度に策定したアクションプログラムを全面改定ということではなく、中身を検証しながら、新たな事業メニューも入れて進めているところです。

◎前川朝平議員 再編協議の中で普天間の危険の除去というものは一つも語られてない、市長が今やるべきことは飛行停止をしてくれとか、危険の除

去のためヘリコプターをグラムなどに移してくれと発信すべきではないか。

◎市長 市が、三年近く危険の除去を求めて取り組んできたことが全県民的な動きとなっている、そのことを踏まえ、次のステップを考えて新たなアクションプログラムを策定し取り組んでいきたい。

◎前川朝平議員 ぜひ再編に合わせ、何らかの行動を起こして、前進させるよう一日も早い閉鎖と危険の除去をやりたい。

## 介護保険制度の改正について

◎安里嗣頼議員 介護保険制度の主な改正点についての御説明をいただきたい。

◎福祉保健部長 一点目に予防重視型システムへの転換ということ、新予防給付の創設、地域支援事業の創設、二点目に新たなサービス体系の確立ということ、地域密着型サービスの創設、創設等でございます。

◎安里嗣頼議員 今度の改正では重度の人を重点にということですが、行政というのは財政も考えなければならぬわけで、行政によって介護度を上げないよう、恣意的に厳しいケアマネジメントが行われる危険性については。

◎福祉保健部長 財政というものも考えて対応するということではなく、当然十分なサービスを提供していく中で高齢者が自立した日常生活を営まれるよう頑張っていきたい。

◎安里嗣頼議員 皆さんの努力で市民に喜ばれる、そしてだれもが受けられる介護保険制度の実現に向けていただきたい。



### 農林水産業振興計画の進捗状況について

◎**名城宏議員** 大山田いも地区に関し、区画整理事業の網のかぶった中では県の農林水産振興資金という補助金等が全然受けられないと聞いておりますがどうか。

◎**市民経済部長** 市街化区域については、そういった補助金等は受けられません。ただ、十八年度事業として田いも地区の逆線引きを視野に入れて、この逆線引きができれば農振地域という指定等もして補助制度等も活用できます。

◎**名城宏議員** 逆線引きでき

たら、その制度も使えるということですが、県と調整したことはありますか。

◎**助役** 大山七号の道路問題含めて農業振興のあり方については、県の方とも協議をスタートさせています。市街化区域においても農業によるまちづくり交付金事業等も立ち上がっているの、基盤整備を含めて検討していきたい。

◎**名城宏議員** 県とも十分調整しながら制度を使って、悔いを残さないような進め方をしたい。



大山の田いも地域

### 私立幼稚園就園奨励補助事業について

◎**比嘉憲康議員** 入園料を含めた公立幼稚園と私立との費用の差が、平均十三万五、一六〇円あるわけです。その格差是正のための奨励補助金ですが、三歳児、四歳児は本来なら公立も引き受けないといけないところを本市では、親は私立とかそういう民間に入れざるを得ないため、非常に大きな財政負担をかけています。今回、十九年度から実施予定の四歳児と五歳児のモデル事業が始まれば、私立幼稚園奨励補助金も四歳から引き受けざるを得ないと

思うがどうですか。

◎**市長** 本市の財政がどのよな状況に移っていくのか、まだ見えていないところもございますので、市としてはそれぞれの制度についてしっかりと熟慮しながら、どのようなことが本市において可能か検討してまいりたいと思います。

◎**比嘉憲康議員** ぜひこの一年で整理して、十九年度には二年保育も進みますので、財政的な面も含めて、改善すべきは改善していくよう、検討方よろしくお願いします。

### 宜野湾市地域防災計画について

◎**岸本一徳議員** 本市の防災計画は、全国に発信をする内容となっているのか。その自信のほどを御説明ください。

◎**総務部長** この事業は全国で十の団体がモデル地域として指定を受けており、本市においては、要援護者の避難支援計画策定の趣旨、目的に合致した体制が確保できていると思っております。

◎**岸本一徳議員** 総務部の強化というか、例えば、総務部の防災担当へ消防出身の職員を配置するとか、専門的な部分を

◎**市長** 専門的な知識がしっかりと活用できるような体制が大変重要だと思います。

◎**岸本一徳議員** しっかりとした検討を要望しておきます。

### 通学路等の交通安全対策について

◎**知念吉男議員** ます長田一

号線の横断道路の白線について、地域からの訴えで、去った金曜日にも点検をしましたが、子供たちが本当にこわごわと渡っている姿を見て、早く白線引いて安全に横断できるようにしていただきたいと思っております。

◎**指導部長** 交通安全の指導

には、ボランティアやPTAの方々の支援を受けて安全確保が保たれているようでありま

◎**知念吉男議員** 四月になり、新一年生を持つ親御さん方にとっては、やはり心配の種であります。この心配を早くなくしていくために頑張っていたきたい。

◎**指導部長** 交通安全の指導



改善要求がなされた市道長田1号

### 市道宜野湾十一号の進捗状況について

◎玉那覇繁議員 これまで宜野湾十一号については、本員が

当選してから十六年間、三十一回に渡ってやってきましたが、

質問するたびに、現在、防衛施設庁と調整中であるとの答弁が返ってきています。今後どう進めようとしているのか。

◎建設部長 今年度から防衛施設局が実施する、埋蔵文化財試掘確認調査の結果を見ないとわかりませんが、少なくとも

上原から中原進入路あたりまでは文化財はないので、その部分だけでも先行して整備でき

ないかという協議を今進めているところですが。

◎玉那覇繁議員 昨年の五月二十日の協議以後、協議はされていないのではないですか。

◎建設部長 その後、次長が調整官と話し合っております。それ以降は、課長以下職員が現在協議を進めていて、平成十七年度は八回ほど防衛施設局の方と協議を進めています。

◎玉那覇繁議員 市民福祉市民ニーズの観点からも、早めに十一号を整備事業化していただきたいと思っています。

### 環境行政について

◎大城政利議員 ISO一四〇〇一の導入について、取り組み状況について伺います。

◎総務部長 必要性は痛感してはいますが、まだそこまで入り込める環境にはありません。

◎大城政利議員 七百名も職員がいるわけですから、そのISOも早期に導入をして、本市を環境都市として構築してもらいたいと思いますか。

◎市長 市としても、このような国際規格を通して制度として体制を整えていくことは大変重要であろうと思います。

### 道路行政について

◎平良眞一議員 我如古十字路近辺は非常に交通量がふえ、中部商業高校前の交差点で右折車が多いので、右折帯を設置してほしいのですが。

◎建設部長 国道三三〇号は国の管理になっており、市の方も要請等を行ったのですが、用地買収等の金額もかかることから、現在は計画がないとの返事を受けております。

◎平良眞一議員 市道に大型車が通れないぐらいの路上駐車をしている場所が、多々見受けられるのですが、どこで管理

し対応しているのか。

◎建設部長 土木課の方で巡回し、点検等も行っているのですが、周辺の住民の方から連絡がない限り、今の体制ではそこまで管理が十分にできない状況になっております。

◎平良眞一議員 店先にいろんな商品等が置かれていて、歩道の部分が歩けない。そういう場所を把握されているか。

◎建設部長 巡回しながら注意はしていますが、その後また元に戻ったりという状況であります。



中部商業高校前の交差点

### 基地問題と日米安全保障について

◎佐喜眞淳議員 日米両政府の中において、基地再編協議が大詰めを迎えておりますが、日米安全保障条約についての市長の見解をお聞きします。

◎市長 沖縄の過密な基地の状況等を考えますと、現在の日米安全保障条約の現状というのは見直されるべきであると考えております。

◎佐喜眞淳議員 宜野湾市の十年先、二十年先を見据えた中で、必要なものは財政支援だと思えますが、市のまちづくりのために要請をされてきたのかをお聞きします。

◎基地政策部長 普天間飛行場の危険性の除去、あるいは早期の返還を求めるといったことを一つ大きなメインにしながら要請行動をしており、当然国からの財政支援ということもお願いしながら展開しているということと御理解いただければと思います。

◎佐喜眞淳議員 宜野湾市の主体性を持ってきちんとして形で政府に訴えて、国からの財政支援を確約してもらっていただくことを要望します。

### 嘉数小学校区への児童センターの設置について

◎伊波廣助議員 児童センターの利用者は、幼稚園児や小学校低学年に多いと思いますが、なぜ中学校単元に設置されているのか。

◎福祉保健部長 宜野湾市新総合計画、中期基本計画の中で児童センター建設の適正配置については、中学校区ごとに配置するという方針の中で整備されてきたということでございます。

◎伊波廣助議員 先日、嘉数小学校父母の会の皆さんが、直接市長を来訪し児童センター建設について要請されたと思いますが、市長はどのような対応をされたのか。

◎市長 要請の趣旨である保健相談センターを改築してそこに児童館をとということでしたが、志真志真団地に新たな児童館を建設予定であることから、当面そういう計画は持っていないということと説明申し上げました。

◎伊波廣助議員 いま一度、小学校単元の児童センターの建設について、改めて内部で検討していただきたい。

### 行財政改革について

◎新垣善正議員 施政方針の中

で平成十八年度を開始年度とする第四次行財政改革大綱を策定し、行財政改革推進計画を進めてまいりますとありますが、どういふ決心をして十八年度を乗り切っていくか。

◎市長 組織機構改革及び業務プロセス見直し等を通して組織体制のあり方を十八、十九年度でしっかりやってまいりたい。財政も厳しいわけですが、

滞納整理による財源の確保や企業誘致等がございます。それから本市の抱える医療財政、介護

護財政を抜本的にしっかりと取り組んでまいりたいと思っております。

◎新垣善正議員 国保等の特別会計というのは、本当は独立

採算ということで組んでいると思いますが、一般会計から繰り出さなければいけない。繰出金を減らしていく方策を伺いたい。

◎市長 今このようにできるということをお願いされませんが、必須の課題だと思っておりますので、十八年度中に検討したいと思っております。

### 沖繩が肥満県と言われる現状と対策について

◎比嘉正樹議員 沖繩県の三十代以上で肥満と診断された

人の割合は、各世代で突出して全国一位であります。本市においての現状、対策はどのように行っているか。

◎福祉保健部長 四十歳以上を見ますと、本市は県平均と比較して肥満度は低い割合となっております。

対策については、健康増進課において、住民健診後の結果説明会及び健康相談、ヘルシーライフ教室等の実施や、

生き生き健康移動教室並びに水中運動教室についても住民

健診とリンクした形で、肥満を初め各種疾病の予防と健康づくりを一体的に進めております。

◎比嘉正樹議員 子供からお年寄りまで、病院に行かない健康な体を一年間維持した方を表彰したらどうか。お金をかけないで市民の意識を高めるため、表彰制度の創設をお願いしたいが。

◎福祉保健部長 財政面も含めていろいろございますので、事務的に協議をさせていただきますかと思っております。

### 新城区光アパート南側の土砂崩れ対策について

◎上江洲安儀議員 新城区基

地フェンス沿い光アパート南側の土砂崩れは、約二十メートルから三十メートル程度であります。そのほかの道路沿いは、現状のまま整備していただきたいのだが答弁願います。

◎建設部長 米軍の方が施工する区域と、新城住民の希望

している区域に若干食い違いがありますので、工事着手する前に、その辺の協議を予定しております。

◎上江洲安儀議員 工事範囲

を二十メートルから三十メートルでお願いしたのに、周辺に配られた通知書によると、

施工範囲が六十メートルになっていて、とても迷惑しておりますが、どうしてですか。

◎建設部長 住民が希望している範囲と米軍が施工しよう

としている範囲に相違がありますので、この辺については今後調整していきたいと考えております。

◎上江洲安儀議員 地域住民が望んでいるような改修工事をよろしく願います。



新城区内の土砂崩れ現場

### 入札制度の現状について

◎桃原功議員 市長も公約に

掲げて入札制度の改革に取り組んでいくということで、はや三年が過ぎましたが、その内容についてお尋ねします。

◎総務部長 公平、公正な入札業務をやっていくことが主眼

でございます。工事関係については、予定価格の事前公表、指名業者の入札後の公表、低入札価格調査制度の導入、現場説明の廃止等の実施をまいっております。

◎桃原功議員 学校給食の設備機器の入札についてこのよ

うな業種は県内に三、四社しかないと確認していますが、十社前後の業者を指名して入札

されている実態があります。もし、専門でない業者が落札した場合学校給食に対して責任がもてるのか。数合わせではなく本当に実績ある業者で

入札を行うべきではないか。

◎指導部長 指名業者の選定に当たっては、会社の業務遂行能力、メンテナンス性の即

応能力等ある程度の審査を経て市内外を問わず、確実な実績の業者を指名しております。

### 雨水排水整備のあり方について

◎仲村春松議員 嘉数雨水幹

線で住宅に水や土砂が流れ込む災害が起こりましたが、現場は平成十六年十一月に完成したばかりです。災害の原因調査分析をしたのか。

◎建設部長 年間雨量の二割程度の雨が短期間に降ったために、のり面が地すべりを起こ

して布設してある排水管を横から押すような形で継ぎ目が外れ、上部の土砂が雨とともに流れてこのような結果になっております。

◎仲村春松議員 どうして自

然的な両護岸を固めた三面張りやボックスカルバートの階段式にしなかったのか。

◎建設部長 重機が入れるような地形ではないことと、最も安い費用でできる形の工法しか補助事業で採択できませんので、現在の工法になって

おります。

◎仲村春松議員 経済性、施工性を考えての決定と思いますが、安全性が欠けている。これぐらいの雨が降って破壊するような設計、工事は二度としないでください。

### 宇地泊第二区画整理事業について

◎島袋亀次議員 当該事業の平成十七年度末の進捗状況をお聞きしたい。

◎建設部長 事業費ベースでいきますと、百三十四億四千八百万円ほど執行しており、五十八・七％となります。造成面積で考えますと、約半分の十八ヘクタールがほぼ完了し、物件補償についても五百二十四件のうち二百九十一件を終えている状況です。

◎島袋亀次議員 平成十八年度は、どういう事業に重点を置いて進めていけるのか。

◎建設部長 街路の整備や区画道路の工事請負費で約二億円、また物件補償は四十二件ほどで予算的に十二億円を予定しております。

◎島袋亀次議員 国道五十八号線沿いの物件等も撤去されつつあるのでマリーナ線、宇地泊・大謝名線が有効利用できるよう、国道五十八号につないでいただきたいが。

◎建設部長 平成十九年度までに完成させて、海側の企業用地等も有効活用できる形で整備を図りたいと思います。



国道58号線沿いの区画整理地域

### 固定資産税の課税漏れについて

◎呉屋勉議員 分譲マンションの土地に係る固定資産税を長期にわたって課税していなかった課税漏れが、市側のミスで起きております。その原因はどこにあるのか。

◎総務部長 まず、市民の皆様におわび申し上げたい。原因はマンション等の敷地面積全体の課税額を算出してから、持ち分で税額を案分すべきですが、面積を最初で案分したために、課税免除となったのが原因とっております。

◎呉屋勉議員 最初の通知書

ではおわびの一言もなく、再度文書を送付して初めてミスを認め、おわびも載っておりませんが、直接訪問するか、電話でおわび方々納税のお願いをするのが筋ではないですか。

◎総務部長 私どもはミスを認め、以後の対策を税法どおりには是正していきたい気持ちですが、説明する時間的ゆとりを持ち得なかったのは大きな反省点でございます。

◎呉屋勉議員 二度とこのようなことが起こらないよう強い自覚を促したい。

### 障がい児の放課後ケア事業について

◎伊波一男議員 厚生労働省は、障害のある中高生を放課後に預かるタイムケア事業をスタートさせております。学校下校後に活動する場を確保するとともに、親の就労支援と家族の一時的な休息を目的とするものです。多くの保護者や関係者からこの事業の早期開始が求められておりますが、本市の取り組みはどのようになっていますか。

◎福祉保健部長 国の事業内容や補助金の基準等を満たすことが可能かどうか、利用者

負担が生ずることから、担当部署としては、居宅生活支援費サービス利用者の二十一人の世帯を対象に、事業のニーズ調査を行い、さらに障害のある中高生全世帯の七十世帯を対象に二回目の調査を実施しております。現在のところ実施に踏み切るのは、非常に厳しい状況にあります。

◎伊波一男議員 タイムケア事業といっても内容もわかりにくいのですが、今後ともぜひ検討し、実施ができるようにしていただきたい。

### 大山小学校の過密解消について

◎伊佐光雄議員 大山小学校の過密解消の取り組みですが、昭和六十二年に教育委員会より市長へ新設分離校の要請書が出され、平成八年には庁議決定、同年九月議会で三十七億円の債務負担行為も可決している。なぜそこまでしたのに、今日に至っているのか。

◎企画部長 市としては用地取得が困難ということで、これまで分離新設が行えなかったという認識を持っています。

◎伊佐光雄議員 家庭科教室改造の予算六百万円は、過大規模校だから単費になった。そこまで弊害が出てきているわけです。この問題、当局のちぐはぐな答弁で議会も戸惑っている。教育委員会は昨年も新設校で結論を出したが、助役はそれに対し、校区再編の方向でワーキングチームをつくるわけですか。

◎助役 大山小学校のあり様を早急に解決するために、教育委員会から要請されたものが、今困難であるための解消策をお互い話し合っていくということですが。



大山小学校内のプレハブ校舎

# 第324回 宜野湾市議会定例会付議事件一覧及びその結果

事件番号	事 件 名	議決結果	事件番号	事 件 名	議決結果
議案第7号	平成18年度宜野湾市一般会計予算	原 案 可 決	議案第40号	宜野湾地区学習等供用施設の指定管理者の指定について	同 意
議案第8号	平成18年度宜野湾市国民健康保険特別会計予算	原 案 可 決	議案第41号	19区地区学習等供用施設の指定管理者の指定について	同 意
議案第9号	平成18年度宜野湾市老人保健医療特別会計予算	原 案 可 決	議案第42号	宜野湾海浜公園内の区域の一部及び宜野湾市産業展示館の指定管理者の指定について	同 意
議案第10号	平成18年度宜野湾市下水道事業特別会計予算	原 案 可 決	議案第43号	宜野湾市シルバーワークプラザの指定管理者の指定について	同 意
議案第11号	平成18年度宜野湾都市計画字地泊第二土地区画整理事業特別会計予算	原 案 可 決	議案第44号	固定資産評価審査委員会委員の選任について	同 意
議案第12号	平成18年度宜野湾都市計画佐真下第二土地区画整理事業特別会計予算	原 案 可 決	議案第45号	固定資産評価審査委員会委員の選任について	同 意
議案第13号	平成18年度宜野湾市介護保険特別会計予算	原 案 可 決	議案第46号	宜野湾市介護保険条例の一部を改正する条例について	原 案 可 決
議案第14号	平成18年度宜野湾市介護老人福祉施設等特別会計予算	原 案 可 決	議案第47号	宜野湾市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について	原 案 可 決
議案第15号	平成18年度宜野湾市水道事業会計予算	原 案 可 決	議案第48号	宜野湾市議会議員定数条例の一部を改正する条例について	原 案 可 決
議案第16号	平成17年度宜野湾市一般会計補正予算(第7号)	原 案 可 決	意見書第32号	米軍基地普天間飛行場の危険性の除去に関する意見書	原 案 可 決
議案第17号	平成17年度宜野湾市国民健康保険特別会計補正予算(第4号)	原 案 可 決	陳情第38号	沖縄単独州の設置を求める意見書の採択について	閉会中の 継続審査
議案第18号	平成17年度宜野湾市老人保健医療特別会計補正予算(第3号)	原 案 可 決	陳情第39号	患者・国民負担増の中止と「保険で安心してかかれる医療」を求める陳情	閉会中の 継続審査
議案第19号	平成17年度宜野湾市下水道事業特別会計補正予算(第4号)	原 案 可 決	陳情第40号	准看護師が看護師の受験資格を得るための「2年課程通信制」養成所の早期開設を求める陳情	閉会中の 継続審査
議案第20号	平成17年度宜野湾都市計画字地泊第二土地区画整理事業特別会計補正予算(第3号)	原 案 可 決		閉会中の継続審査申し出について 陳情第26号 消費税の増税に反対し、改正消費税法の凍結を求める陳情。陳情第38号 沖縄単独州の設置を求める意見書の採択について。	承 認 (総務常任 委員会)
議案第21号	平成17年度宜野湾都市計画佐真下第二土地区画整理事業特別会計補正予算(第3号)	原 案 可 決		閉会中の継続審査申し出について 陳情第7号 乳幼児医療費助成制度の拡充に関する要請。陳情第9号 乳幼児医療費助成事業に対する陳情。陳情第10号 母子及び父子家庭等医療費助成の給付方法を償還払いから現物給付へ変更することについての要請。陳情第34号 地域小公園及び公民館(コミュニティーハウス)の整備について。陳情第36号 嘉数小学校区内に児童センターを設置することに関する陳情。陳情第37号 宜野湾市の児童福祉向上に関する要請。陳情第39号 患者・国民負担増の中止と「保険で安心してかかれる医療」を求める陳情。陳情第40号 准看護師が看護師の受験資格を得るための「2年課程通信制」養成所の早期開設を求める陳情。	承 認 (経済民生 教育常任 委員会)
議案第22号	平成17年度宜野湾市介護保険特別会計補正予算(第2号)	原 案 可 決			
議案第23号	平成17年度宜野湾市介護老人福祉施設等特別会計補正予算(第3号)	原 案 可 決			
議案第24号	宜野湾市職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例について	原 案 可 決			
議案第25号	宜野湾市立総合運動場の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例について	原 案 可 決			
議案第26号	宜野湾市勤労青少年ホームの設置及び管理に関する条例並びに宜野湾勤労者体育センターの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例について	原 案 可 決			
議案第27号	宜野湾市障害者介護給付費等認定審査会の委員の定数等を定める条例について	原 案 可 決			
議案第28号	宜野湾市基幹型在宅介護支援センター設置条例を廃止する条例について	原 案 可 決			
議案第29号	宜野湾市営住宅設置及び管理条例の一部を改正する条例について	原 案 可 決			
議案第30号	宜野湾市消防手数料条例の一部を改正する条例について	原 案 可 決			
議案第31号	沖縄県市町村総合事務組合規約の変更について	原 案 可 決			
議案第32号	沖縄県市町村自治会館管理組合を組織する市町村の数の増減について	原 案 可 決			
議案第33号	交通事故に関する和解等について	同 意			
議案第34号	普天間三区地区学習等供用施設の指定管理者の指定について	同 意			
議案第35号	喜友名地区学習等供用施設の指定管理者の指定について	同 意			
議案第36号	伊佐地区学習等供用施設の指定管理者の指定について	同 意			
議案第37号	大山地区学習等供用施設の指定管理者の指定について	同 意			
議案第38号	真栄原地区学習等供用施設の指定管理者の指定について	同 意			
議案第39号	我如古地区学習等供用施設の指定管理者の指定について	同 意			

第322回 宜野湾市議会臨時会付議事件一覧及びその結果		
事件番号	事 件 名	議決結果
決議案第14号	米軍F15戦闘機の墜落事故に対する抗議決議	原 案 可 決
意見書第31号	米軍F15戦闘機の墜落事故に関する意見書	原 案 可 決

第323回 宜野湾市議会臨時会付議事件一覧及びその結果		
事件番号	事 件 名	議決結果
議案第1号	平成17年度宜野湾市一般会計補正予算(第6号)	原 案 可 決
議案第2号	平成17年度宜野湾市下水道事業特別会計補正予算(第3号)	原 案 可 決
議案第3号	下水道施設に係る浸水事故に関する和解等について	同 意
議案第4号	下水道施設に係る浸水事故に関する和解等について	同 意
議案第5号	下水道施設に係る浸水事故に関する和解等について	同 意
議案第6号	宜野湾マリン支援センター整備事業に係る建物の取得について	同 意